



明治三十二年八月

有田学友會

六田町

澁谷所藏

有田學友會設立趣意書

和合協力の利は世既に定論あり而かも其利を實にするもの鮮
きは生等の常に嘆ざる所也今や我郡の實情を觀るに教育未だ
擧がらざる實業未だ振はざる公義の心日に漸く頽廢し因循の風月
に益す多からむとす是れ抑も何の故ぞ耶原因固より種々ある
可しと雖ども要するに郡民相分離し先輩後進相隔絶し因て以
て和合協力の利を實にする能はざるは其最大弊源たらんば
あらず生等茲に觀る所あり這回有田學友會なるものを組織し
郡中の有志者及學友との聯絡を疏通し先輩後進相率めて以て
和合協力其利を實にせむことを欲す是れ本會設立の趣旨也頼
みにして諸君の贊助により彼所調弊源を匡救するを得ば皆に
生等の光榮と全郡の利益なる而已ならん復た實に邦家の至幸
ならむ乎

右發起人連名

井爪孝一	濱口四郎	濱口惠璋
星田正一郎	大南徳之丞	龜井徳二郎
川口孫次郎	片畑泰治	海瀬定一
川口里美	狩野廣崖	玉置彌造
武内一郎	高垣安之助	竹林兼三郎
中龍兄	野田一	久徳清吉
久保繁太郎	久保又右衛門	藥王小彌太
山本正夫	矢船一夏	古賀環
兒嶋太一	佐々木種太郎	喜多貞吉
由希祥四郎	湯川常二郎	由良藤三
宮田誠敬	宮地植熊	平松幾太郎

有田學友會々則

第一條 本會ハ有田學友會ト稱ス
 第二條 本會ハ事務所ヲ有田郡廣村五百四十三番地ニ置ク
 第三條 本會ハ專ラ有田學友相互ノ親睦ヲ圖リ智識ヲ交換スルヲ以テ目的トス
 第四條 本會々員ハ別テ賛助員及正會員ノ二種トス但賛助員ハ有志者ヨリ正會員ハ學友ヨリ成ル
 第五條 本會ノ開會ハ通常臨時ノ二種トシ通常會ハ毎年一回夏期休暇中之ヲ開キ臨時會ハ會長ノ指圖ニヨリ之ヲ開クヲ得
 第六條 本會ハ便宜ノ爲メ會員所在

會長 一名 評議員 若干名
 幹事 六名 委員 若干名
 一頂 會長ハ本會ヲ總理シ評議員ハ會務ヲ評議シ幹事ハ專ラ會務ヲ處理シ委員ハ各部ニ於ケル庶務ヲ掌ルモノトス
 二頂 會長及評議員ハ郡ノ名望家ヲ推薦ス
 三頂 幹事ハ會員中投票ヲ以テ選舉シ委員ハ會長之ヲ選任ス
 四頂 役員任期ハ會長及評議員ヲ除ク外凡滿二ケ年トス
 第八條 本會々費ハ左ノ如シ
 賛助員 一ケ年金

- 地ヲ別テ左ノ十五部トス
- 第一部 宮崎村 保田村
 - 第二部 系我村 宮原村
 - 第三部 田殿村
 - 第四部 藤並村
 - 第五部 湯淺町 田栖川村
 - 第六部 廣村 南廣村 津木村
 - 第七部 御靈村 生石村
 - 第八部 石垣村 鳥屋城村
 - 第九部 五西月村
 - 第十部 岩倉村 城山村 五村
 - 第十一部 八幡村 安諦村
 - 第十二部 和歌山市
 - 第十三部 大阪市 京都市
 - 第十四部 東京市
 - 第十五部 仙臺市

正會員 毎月金

第九條 本會ハ第二條ノ目的ヲ達セムガ爲メ毎年一回以上會報ヲ發刊スルモノトス

但會報編輯ニ關スル凡テノ事項ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 本會ノ會議ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第十一條 本會々員ニシテ會ノ体面ヲ汚スノ處爲アリト認ムルハ會長又ハ幹事ヨリ直テニ忠告シ尙ホ改メザルハ幹事會ノ決議ヲ以テ會長ニ稟議シ除名スルコトアル可シ

第十二條 入會又ハ退會セント欲スルモノハ所屬委員迄申出ラル可シ

第十三條 本會々則ノ變更ハ本會ノ決議ニ由ルモノトス

有田學友會役員氏名

會長	濱口儀兵衛	幹事	喜多貞吉
評議員	濱口吉右衛門	全	狩野廣崖
全	濱口儀兵衛	全	久徳清吉
全	岩崎重次郎	全	野田龍一
全	野田四郎	全	中龍克
第一部(宮崎村保田村)委員	喜多貞吉	編輯主任	濱口惠璋
第二部(系我村宮原村)委員	川口里美		古賀環
	兒嶋太一		

- | | | | |
|-----------------|-------|--------|------|
| 第三部(田殿村)委員 | 由布祥四郎 | 矢船一良 | 勝丸一視 |
| 第四部(藤並村)委員 | 平松幾太郎 | 武内一郎 | |
| 第五部(湯淺町田栖川村)委員 | 宮田誠敬 | 榎本寛 | |
| 第六部(廣村南廣村津木村)委員 | 石川保太郎 | 藥玉小彌太 | |
| 第七部(生石村御靈村)委員 | 川口孫次郎 | | |
| 第八部(石垣村鳥屋城村)委員 | 宮地槌熊 | 佐々木種太郎 | |
| 第九部(五西月村)委員 | 高垣安之助 | | |
| 第十部(城山村五村岩倉村)委員 | | | |
| 第十一部(八幡村安諦村)委員 | 湯川常二郎 | 海瀬定一 | 堀江廣一 |
| 第十二部(和歌山市)委員 | 龜井徳次郎 | 井爪孝一 | |
| 第十三部(大阪市京都市)委員 | 大南徳之丞 | 由良藤三 | |
| 第十四部(東京市)委員 | 野田一 | 濱口四郎 | |
| 第十五部(仙臺市)委員 | 星田正一郎 | | |

この会は終戦直後まで続いて最後の会長は
 岩崎功先生の御父上であられた功先生に
 お聞きしました。くわいするは功先生にお聞
 きすればわかります。この会は中学以上の
 学校卒業生(今有田郡内の)の会だるんそうです
 として最後は自然にたう消えにたうた

